





講座名	「感想画指導実践講座」 ～子どものイメージを豊かにし、よさを引き出す～		
講師	西村貞雄（沖縄県美術教育推進協議会会員 琉球大学名誉教授）		
期 日	平成23年8月1日（月）	時 間	13:30～16:00
場 所	那覇市立教育研究所 多目的ホール	人 数	小65 所員3 計68
内 容	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>◇描画活動をするにあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵の心とは ・ 絵の指導 ・ 書くことの本命は ・ 知的リアリズム ・ 視覚的リアリズム <p>◇写生と背写について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書感想画の指導方法 ・ 関連して育つ能力 ・ 授業づくり ・ 教材を選ぶ視点 ・ 留意すべき事柄 ・ 場面について ・ 画面について <p>◇絵の具での混色や塗り方など</p> <p>◇筆の使い方</p> </div> <div style="flex: 3;">     </div> </div>		
感想 質 問	<p>小 これまでいろいろ工夫しながら感想画を指導してきましたが、今回の講座のように「遊び感覚」でイメージをしながらいつの間にか画面が仕上がっているのはすごいと思いました。また、絵を描かせる前にしっかりテーマを設定しておかなければ子どもも迷ってしまい、時間がかかってしまうなと感じました。</p> <p>小 子どもたちに「はい描きなさい。」では、とても戸惑いを感じるものだなとということをお自身の今日の体験で実感しました。子どもたちの自由な発想を引き出すのではなく、上手な絵を描かせることに終始していたようで、もっと楽しいと思えるような授業実践をしていかなければと反省すると共に、考えさせられました。</p> <p>小 様々な方法で「描く」ということにアプローチできれば、もっと楽しく思ったことを表現できるとわかった。 また、私たちが作業している間、ずっと西村先生が「間違いないですよ。」と声をかけて下さることで、安心して取り組むことができた。私も指導の際にこのような温かな声かけができるように心がけていきたい。</p> <p>小 構成を考える段階で、コラージュを活用すると子どもたちが活動しやすいことがよく分かりました。早速感想画の指導で実践したいと思います。 また、道具についての話の中で、筆を1本しか持たない子が多いという内容があったので、子どもたちの持ち物にも気を配っていきたいと思いました。</p> <p>小 絵が苦手な子がいたときに、指導に困ることが何度かあり、つい教師があれこれ指摘してしまうことがありました。今日の講座で、小さな紙から大きな紙を使って描く技法を習い、これなら楽しく児童もできそうだなあと感じました。</p>		